

“新しい時代に必要な資質・能力”を育む“教師力”の向上

★「新しい時代に必要な資質・能力」とは、これからの時代における様々な社会的変化を乗り越え、豊かな人生を拓き、持続可能な未来の創り手となるために必要とされる次のような資質・能力であると捉えます。

- 生きて働く「知識・技能」
- 未知の状況にも対応できる「思考力・判断力・表現力等」
- 学びを人生や社会に生かそうとする「学びに向かう力・人間性等」

★「教師力」とは、「教員の資質の向上に関する指標」に位置付けられた「本県のめざす教員像」に示す次のような力であると捉えます。

- 教育者としての使命感や誇り、責任感を持ち、教育活動に当たる
- 豊かな人間性や社会性を持ち、多様な他者と関わることができる
- 学び続ける向上心を持ち、常により良い実践を追い求める
- 児童生徒が生きていく未来社会を見据え、教育課題に挑戦し続ける
- 高度専門職としての高い知識や技能、指導力を身に付けている
- 家庭・地域社会との連携を図り、学校としての組織的対応ができる



- 1 「主体的・対話的で深い学び」の実現に向けた授業改善を目指し、学校現場で実践することをゴールに見据えた研修を提供します。
- 2 令和の日本型学校教育を担う「新たな教師の学びの姿」の実現を目指し、課題設定や振り返りを含んだ演習・協議等の手立てを工夫した研修を提供します。
- 3 学校、先生方の課題や悩みに寄り添い、その実践と意欲をサポートします。

「新たな教師の学びの姿」とは、

- 変化を前向きに受け止め、探究心を持ちつつ自律的に学ぶという「主体的な姿勢」
- 求められる知識技能が変わっていくことを意識した「継続的な学び」
- 新たな領域の専門性を身に付けるなど強みを伸ばすための、一人一人の教師の個性に即した「個別最適な学び」
- 他者との対話や振り返りの機会を確保した「協働的な学び」

『令和の日本型学校教育』を担う教師の養成・採用・研修等の在り方について～「新たな教師の学びの姿」の実現と、多様な専門性を有する質の高い教職員集団の形成～(答申)(令和4年12月19日)より

校長及び教員の資質の向上に関する指標と青森県総合学校教育センター研修講座〈165講座〉との関係

指標の観点※/キャリアアステージ/職 人間力 指導力 マネジメント力 ICT活用力	採用前 職階級等	形成期 初任からおおむね採用5年目まで	向上・発展期 おおむね採用6年目から15年目まで	充実期 おおむね採用16年目以降	校長及び教頭
A 基本研修	58 講座 E 幼児教育センター A 主催研修	初任研・ 新探研	中堅教諭等資質向上 前期研修講座 ※採用5～7年目のうち いずれかの1年間で受講する	中堅教諭等資質向上 後期研修講座 ※採用12～15年目のうち いずれかの1年間で受講する	
		F フォロ アップ研			
B 職務研修	17 講座	臨時講師 等の 研修講座 ※C・Dの講座 も受講可	新任主任等に関する研修講座 ※新任以外も受講可 ※ミドルリーダーとして期待される資質・能力に関する研修を一部含む 教務主任、学年主任、保健主事、生徒指導主任・主事、 特別支援教育コーディネーター	新任主任等に関する研修講座 ※ミドルリーダーとして期待される資質・能力に関する研修を一部含む 中学校進路指導担当者、校内研修担当者、 道徳教育推進教師、食育担当者	新任管理職に 関する研修講座 校長、教頭、事務長
C 教科研修	53 講座	教科教育に関する研修講座 道徳、国語、社会、地理歴史、公民、算数、数学、理科、生活、音楽、図画工作、美術、家庭、技術・家庭、 体育、保健体育、外国語・外国語活動、外国語、情報、産業教育、農業、工業、商業、ICT活用			
D 教科外研修 専門研修	37 講座	領域等に関する研修講座 総合的な学習の時間、総合的な探究の時間、特別活動、キャリア教育、高等学校における道徳教育、プログラミング教育、 幼保小連携 生徒指導・教育相談に関する研修講座 「気になる子供」のかわり方、SOSの出し方教育、今日から始めるいじめ対策、今日から始める保護者対応、 今日から始める学級(HIR)集団づくり、今日から始める不登校対策、今日から始める教育相談 特別支援教育に関する研修講座 高等学校における特別支援教育、新担当教員[弱視、難聴、自・情コース] [知的、肢体、病弱、通級コース]、 自立活動、特別支援学級授業づくり、「できてうれしい気持ち」を育てる教材・教具、 インクルーシブな学びを支える、読み書きに困難のある児童生徒への指導・支援、子供の育ちを支える発達支援 情報教育に関する研修講座 タブレット端末基礎、生成AI基礎、教育クラウドサービス活用(ロイノート・スクール、GoogleWorkspace、 MicrosoftTeams)、オンライン授業実践、校内LAN(ネットワーク基礎、管理)、Webページ作成・活用			

※教員の指標は4観点で示されているが、校長及び教頭の指標は指導力、ICT活用力を除く2観点で示されている。ただし、教頭については、指導力の観点にも留意が必要である。
※講座数は、令和8年3月時点における開催予定の数である。